

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【公開番号】特開2002-2118(P2002-2118A)

【公開日】平成14年1月8日(2002.1.8)

【出願番号】特願2001-117706(P2001-117706)

【国際特許分類第7版】

B 4 1 M 5/26

C 0 9 B 29/09

C 0 9 B 45/00

C 0 9 B 67/22

G 1 1 B 7/24

【F I】

B 4 1 M 5/26 Y

C 0 9 B 29/09 C L A C

C 0 9 B 45/00

C 0 9 B 67/22 A

G 1 1 B 7/24 5 1 6

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月27日(2004.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

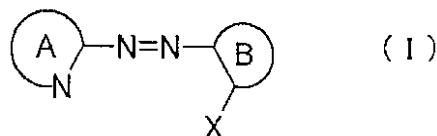
【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板上に、レーザーによる書きこみ及び/または読み取り可能な記録層を設けた光学記録媒体であり、該記録層が、構造の異なる2以上のアゾ系化合物と、2価以上の金属イオンとで構成されるキレート色素を含有し、

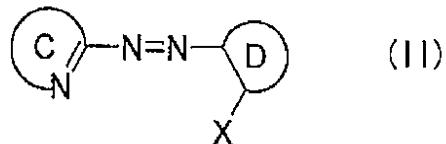
該アゾ系化合物が、下記一般式(I)及び一般式(II)で表されるアゾ系化合物から選ばれることを特徴とする光学記録媒体。

【化1】



(式中、環Aは置換基を有していても良い芳香族複素環を表す。環Bは芳香族炭化水素環、芳香族複素環、またはこれらに飽和環が縮合してなる環を表し、これらはいずれもXの他に置換基を有していてもよい。Xは活性水素を有する基を表す。)

## 【化2】



(式中、環Cは置換基を有していても良い芳香族複素環を表す。環Dは芳香族炭化水素環、芳香族複素環、またはこれらに飽和環が縮合してなる環を表し、これらはいずれもXの他に置換基を有していてもよい。Xは活性水素を有する基を表す。)

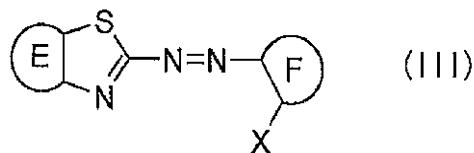
## 【請求項2】

キレート色素1分子中に含まれる2以上のアゾ系化合物が、環A又は環Cの環構造、及び、環B又は環Dの環構造の少なくともいずれか一方において互いに異なることを特徴とする、請求項1記載の光学記録媒体。

## 【請求項3】

キレート色素1分子中に含まれる2以上のアゾ系化合物が、いずれも下記一般式(III)で表される、請求項1または2記載の光学記録媒体。

## 【化3】



(式中、環Eは置換基を有していても良い芳香族炭化水素環、あるいは置換基を有していてもよい芳香族複素環を表す。環Fは芳香族炭化水素環またはこれに飽和環が縮合してなる環を表し、これらはいずれもXの他に置換基を有していてもよい。Xは活性水素を有する基を表す。)

## 【請求項4】

該キレート色素が、記録層に複数種含有される請求項1ないし3のいずれかに記載の光学記録媒体。

## 【請求項5】

記録層に含まれる全色素量に占める、該キレート色素の割合が5mol%以上である、請求項1ないし3のいずれかに記載の光学記録媒体。

## 【請求項6】

記録層に含まれる全色素量に占める、該キレート色素の割合が5~95mol%である、請求項5記載の光学記録媒体。

## 【請求項7】

記録層に含まれる全色素中、該キレート色素を除いた残部が、一般式(I)および一般式(II)で表されるアゾ系化合物から選ばれた、同一構造のアゾ系化合物のみを配位子として有するキレート色素である、請求項1ないし6のいずれかに記載の光学記録媒体。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

すなわち本発明は、基板上に、レーザーによる書き込み及び/または読み取り可能な記録層を設けた光学記録媒体であり、該記録層が、構造の異なる2以上のアゾ系化合物と、2価以上の金属イオンとで構成されるキレート色素を含有し、該アゾ系化合物が、下記一般

式(Ⅰ)及び一般式(Ⅱ)で表されるアゾ系化合物から選ばれることを特徴とする光学記録媒体に存する。